京城日報
夕刊　七月二日(金)

赤軍極東部隊に兵變勃發

附近に放火、住民多數殺戮さる

黑河省太平溝の對岸方面

【大黑河二日同盟(至急報)】蘇政府の內訌で極東方面に不安な空氣が漲つてゐる折柄遂に一日黑河省太平溝(佛山南方八十キロ)の對岸蘇聯の國境部隊に暴動勃發し、附近一帶に放火、住民多數殺戮された模樣

ブラジルに叛亂起る

【リオデジヤネイロ一日同盟】ブラジル・エスピリトサント州首都ビクトリアにおいて一日叛亂勃發したと傳へられる、叛徒は直ちに州軍隊のため鎭壓された、叛亂に參加した多數の州軍隊將校は逮捕されたと傳へられる、但し叛亂の眞相は全く不明である

交渉停頓、一旦物別れ

我方、斷乎抗議を續く

【重光大使】

【モスコー一日同盟】モスコー駐剳帝國大使重光葵氏は帝國政府の訓令に基き一日午後五時半外務人民委員部にリトヴイノフ委員を訪問、乾岔子島事件につき重要會見を遂げた席上、重光大使はソヴエート艦艇の不法侵入および砲擊を指摘、抗議したに對しリトヴイノフ氏は『日本政府の主張はストモニヤコフ次長より聞いたが』と前提し却つて逆襲的態度に出た、これに對し重光大使は次の通く通告し重ソヴエート側の反省を求めた

(一)ソヴエート艦艇が滿洲國領內に侵入したのは明かに挑戰的である

(二)ソヴエート政府が速かに占領地帶より武裝兵を撤收し現狀回復を行ふことは刻下の情勢に鑑み絕對に必要である

以上重光大使の根本主張に對しリトヴイノフ氏は容易に承認せず撤兵問題で應酬會談は前後二時間にして物別れとなつた、重光大使は午後七時半外務人民委員部を辭去したが以上會見の經過を本省に報告訓令の上改めて折衝するものと見られる

【リ氏】

滿蘇國境・觸發の危機

米大使、重光大使訪問

【モスコー一日同盟】モスコー駐剳アメリカ大使ジヨセフ・デヴイス氏は一日正午帝國大使館に重光大使を訪問

『是は本國政府からの訓令ではないが友人として述べる』と特に前提して『今回の乾岔子島事件を可及的に局地化し事態の不擴大を圖り極東の平和を維持されたい』旨希望を開陳した、重光大使はデヴイス大使の好意を謝として會談は三十分に終つた、なほデヴイス大使は一日リトヴイノフ外務人民委員を訪問する豫定であつたがリトヴイノフ氏の方が事務輻輳のため會見は延期され二日會見を行ひ同樣乾岔子島事件不擴大の希望を表明するものと見られる

デ駐蘇米大使

米は樂觀

【ワシントン一日同盟】アメリカ國務次官ウエルス氏は一日新聞記者との會見において滿蘇國境紛爭事件につき記者側の質問に答へ次の如く語つた

これまで國務省に達した情報は何れも過去の滿蘇國境紛爭事件の何時ものやうな蒸返しに過ぎないとみてゐるやうである、余もなるべくその程度であつて欲しいと思つてゐる

次いで『アメリカ政府はこの問題について日蘇兩國に對して何らかの希望を表明する意向ありや』との質問に對して

余としては果して此の際にこの問題を取上げる必要があるかどうかも疑問だと思ふ

と樂觀的見解を表明した

兩檢閱使宮殿下

檢閱狀況を御奏上

【東京電話】第一、第十六兩師團を御檢閱あらせられた朝香第一特命檢閱使宮殿下並に關西、臺灣、朝鮮各地の航空隊の御檢閱を終へさせられた東久邇第二特命檢閱使宮殿下には二日午前十時半御參內、閑院參謀總長宮殿下、杉山陸相侍立 天皇陛下に御檢閱狀況を御奏上あらせられ、終つて軍事參議官會議に御報告あそばされた

天皇陛下には正午豐明殿に出御、兩檢閱使宮殿下を召され閑院參謀總長宮、梨本元帥宮兩殿下にも御陪席、杉山陸相、寺內教育總監その他陸軍省首腦部を召され御慰勞の思召により午餐の御陪食仰せつけられた

蘇の撤兵が先決條件

外國新聞電報の封鎖にも嚴重抗議

重光大使、記者團に語る

【モスコー一日同盟】重光大使は一日午後リトヴイノフ外務人民委員との會談後新聞記者團に對して左の如く語つた

余は本日リトヴイノフ外務人民委員と會見し乾岔子島事件に關する帝國政府の見解を率直に披瀝し、事件解決にはソヴエート軍隊が占據地帶より即時撤退することが先決條件なる旨通告し、且つ三十日のソヴエート艦隊の不法砲擊は甚だしく挑戰的にして、かかる事態發生は決して今後事件の解決を促進する所以でない旨力說した、同時に外務人民委員部が本事件に關する一切の新聞電報に對し嚴重な檢閱を實施、事實上完全に封鎖してゐるのに對し抗議した

支那も樂觀

【南京一日同盟】乾岔子島衝突事件の第一報は三十日深更當地に達したので一日朝の新聞紙は僅かにその一部を報道したに過ぎなかつたが同日夕刊紙は大々的に報道してゐる、同事件に對し南京政府當局者はその成行きを注視してゐるといふのみで公式意見の發表を避けてをり新聞も亦論評を掲げてゐないが、事件が支那に關係深い日蘇兩國のことであり、場所が滿蘇國境であるので支那官民に極めてデリケートな反響を與へてゐる模樣で、その意見を綜合すると大體左の如き觀測を下してゐるやうである

滿蘇國境紛爭事件は今までしばしばあつたことだし國境線及び河川航行の確たる協定が出來ない限りは今後も繰返されることだらうし、その非がいづれにあるかも俄かに判斷出來ない、今回の事件に關しては未だ十分の情報を得てゐないので輕々に判斷推測出來ないが蘇聯砲艦一隻沈沒、一隻大破といふことが事實とすれば事件は相當重大なことになり今後の成行は第三者には容易に推測出來ない、しかし現在までのところ兩國中央政府は比較的冷靜で事態を外交々涉によつて平和裡に收拾せんとする樣子が見えるので、出先軍隊が輕擧妄動しない限りはこれ以上重大問題を惹起することはあるまい、今の事態の動きは一にかゝつて兩國出先當局の行動如何にあるとみてよからう

蘇聯機飛來

【新京二日同盟】某機關着報によれば一日午後三時頃ソヴエート軍用機三臺はブラゴエ方面より乾岔子上空に飛來し凡そ卅分に亘り日滿軍の警備狀況を偵察した後ブラゴエ方面に飛翔し去つたこの蘇聯の策を出で、益々挑戰的な態度に現地部隊では極度に緊張してゐる

桂咸南保安課長を拓務事務官に

朝鮮人官吏內地登用の第一歩

總督府では拓務省との事務連絡の強化と優秀な朝鮮人官吏を積極的に登用する目的から總督府人事行政の始めの試金石として現咸南道保安課長桂珖淳氏を拔擢し近く拓務省事務官として榮轉させることに決定した、朝鮮人として初めて拓務事務官に內定した桂咸南保安課長は本年卅九歲、新義州高普の第一回卒業生で、松山高校から東大獨法科に學び、昭和六年卒業し高文に合格した前途を囑目される青年官吏である

鴨綠江水電第一回委員會

けふ本府に開かる

鮮滿産業開發の原動力たるべき鴨綠江水力發電計畫に關する總督府側の根本方針並にその具體案を決定すべき第一回鴨綠江水力發電調查委員會は二日午前九時より總督府第一會議室で開催委員長大野政務總監以下委員として大竹內務、三橋警務(代理)林財務、穗積殖産(代理)矢島農林、山田遞信、吉田鐵道各局長、美座平北知事、山澤遞信局技師、江崎鐵道、本遞信副事務官以下五名出席先づ大野委員長より鴨綠江發電計畫の使命を强調する挨拶あつて後直に議事に入り

一、鴨綠江水力發電に關し滿洲國側と協議經過報告の件

二、鴨綠江水力發電地點決定の件

を上程山田遞信局長、今井遞信局電氣課長より夫々詳細說明あり右議題を中心として各委員より意見の陳述などあり愼重審議を遂げ同十一時散會した

南總督歸鮮旅程

【東京支社特電】南總督は二日朝出發の豫定を變更、四日朝『つばめ』にて出發、大阪に一泊、神戸より船にて下關に向ひ六日夜の關釜連絡船で歸鮮の筈

京畿道小作事務打合會

京畿道の小作調停事務打合會は二日午前九時から京畿道會議室に開かれた、出席者は京城地方法院管內小作官、京城地方法院谷報事等卅二名、來る十月で小作令が發布されてから滿三ヶ年になり小作契約が滿期となるので道では新契約に際して傲慢な地主の不當な小作料要求や、悪質な小作爭議の防止につとめる目的である

京畿道內では年々千件の小作爭議が起つてゐるが今年は去る四、五の二ヶ月で既に六百件を超えてゐる狀態で引續き五日仁川、七日水原、九日開城で關係者を集め打合會を開催の筈打合事項は次の通り

一、農地令及び小作關係法令の質疑應答

一、小作委員會における爭議勸解に關する打合及び希望

一、府郡小作委員會と關係裁判所相互間に於ける打合及希望

緊張する外務省——情報を聽取する河相情報部長

——人——

◇白石宗城氏(朝窒專務取締役)一日午後入城天眞樓へ

◇山本滋雄氏(日本商業通信社京城支社長)七月一日から同社組織變更挨拶のため一日本社來訪

◇田淵勳氏(東拓鑛業社長)渡滿途より三日歸城

◇黑木吉郎氏(朝鮮燐寸社長)九大病院に入院中のところ三日退院、十日頃歸城

◇柴田善三郎氏(貴族院議員)故齋藤子記念事業打合のため松村松盛氏等と共に六日入城朝鮮ホテル

◇美座平北知事　二日入城

◇水野希一大佐(龍山憲兵隊長)二日入城

◇高島平壤商議會頭　二日入城天眞樓へ

◇三木朝鮮軍々醫部長　二日新義州へ

◇稻川鐵道局旅客係長　演習のため七八兩日[illegible]へ、廿八日歸任の筈

◇齋藤平吉氏(法學博士)一日午後入城天眞樓へ

◇永井少佐(關東軍參謀)東上の歸途一日入城二日のぞみで退城

◇石原謙文學博士(東北帝大教授)二日あかつきで入城、朝鮮ホテルへ

◇土田甲計大佐(平壤兵器製造所長)二日朝入城朝鮮ホテルへ

◇朱鎭秀(慶光工業株式會社取締役社長)創立挨拶のため本社來訪

◇李相憲氏(同專務取締役)同上

◇李相國氏(同監查役)同上

天地玄黃

多年待望の現行教育令の改正いよいよ實現の模樣

×

乾岔子事件に對する蘇聯の態度不遜

×

內紛を外紛で誤魔化す積りでも、外紛が御自身の命取りにならぬと限らぬ

×

電話度數制實施で各方面緊張の形、その緊張も悪いことでなし

×

それにしても警察官のお伺ひ濟みの上で電話とはどうかと思ふ

×

まるで人を見たら泥棒と思へを警察が地で行くやうなもの

×

溺れる子を救つた普校々長、それをわいわい見てゐた群衆

本日夕刊八頁

曉星雙紙 (95)

田中貢太郎 作
河野通勢 畫

財狼(一)

空には星が淋しさうに瞬たいてゐた。漁船らしい一艘の小舟が上流から來て、橋の下を潜つて往つたが、何か合圖でもしあふやうにその時艪を軋る音をたてゝあつた。四郎兵衞はふと眼をやつた。

『お、お』

四郎兵衞ははじめて橋の上へ來てゐる事に氣が往いたが、何橋だと云ふ事が判らないのか、四邊をうろうろと見た。そして

『大川橋か』

と云つた。四郎兵衞はやつと大川橋と云ふ事を確かめたのか、それから橋の下へ眼をやつた。干潮の大河の水は鉛色に流れてゐた。それをちつと見てゐた四郎兵衞は

『うウ』

と呻くやうにいつた。胸に一ぱいになつてゐる物を吐きだしてゐるところであらう。

『うウ』

それから橋の欄干へぴつたり寄つてそれに兩手をかけながら背へ反らした。四郎兵衞は心が暗くなつてゐるところであつた。本所の方から提灯の燈がぶらぶらと來た。空駕を舁いだ駕夫であつた。前棒になつてゐる駕夫が四郎兵衞の姿に眼をつけた。

『おい、相棒』

『おい、侍を呼ぶのに、相棒あぼうなんて、つまんねえ事を云ひなさんな、御同役とか、何とか、侍らしい口を利くものだぜ』

『まあ、いいつて事よ、乃公の云ふ事を聞きなよ』

『何だ、また女郎買ひか、往きたくつても飲んぢまつたんぢやねえか』

『それもいゝが、乃公の云ふ事も聞きなよ』

『何だ』

『何ちやねえ、おめへ、一昨日の土左衞門を知つてるのか』

『それがどうしたい、化けて出たのか』

『化けて出やしねえが、つまんねえ事をしたものだと云つてらあ、死んで花實が咲くかいなさ』

『獨りでどんぶりこはねえが、好いて好かれてつて云ふ仲なら、わるくはねえ』

『そいつがいけねえ、人間、しんたいはつぶ、これ父母にうくてえのだ、親にもらつた體を、自由に死ぬるなんて、親不孝だよ、どんな事情があるか知れねえが、そいつはいけねえ、俺へなはすがいいや』

『何を云つてやがるのだ、乃公が死ぬのを、發見してるやうに、ふざけやがるな』

『いけねえ、いけねえ、土左衞門はいけねえ、俺へなはしたがいいや、見れやりつぱな大店の旦那らしい』

『おい、何云つてやがるのだ』

『それでもいけねえ、いけねえ、いけねえ』

駕夫は通りすぎた。四郎兵衞は駕夫に見られないやうに顔を河の方へやつてゐたが、駕夫の聲が遠ざかつて往つたので、はじめてその方へ顔をやつた。

『駕夫の中にも、あんな男がゐる』

四郎兵衞はまた駕夫の方を見たが、橋を渡つて何方かへ曲つて往つたのか、もう燈も見えなかつた。

『因果な生れだ、男がこんなに氣が弱くちや、どうにもならない』

何かに打たれたやうに橋の下を閃と見て、『いつそ死んでしまへ、さうなれや腹の立つ事もない』

四郎兵衞はふらふらと本所の方へ橋を渡つて往つた。そして、橋の袂へ往つてしやがんで何か拾ひだした。それは小石を拾つてゐるところであつた。

間もなく四郎兵衞は橋の中央へ引返して水の上を覗きこんだ。そして、欄干に兩手をかけて欄干を乘り越えようとした。

『なむあみだぶつ』

橋の袂から四郎兵衞をつけて來て二三間手前にゐた黑い影が、その時四郎兵衞に飛びかゝつた。

『待つた』

御會葬御禮　夫 古城龜之助

長男周一儀病氣中の處本日午前四時死去致候に付此段謹告仕候
追て葬儀は三日午後四時長沙町妙心寺別院にて相營可申候
昭和十二年七月二日
京城府大和町二丁目官舍三二
鷹松龍種
親戚 一同
友人總代

基教系學校の廢止は 本部資金の中斷から

いよいよ犠牲の四校を決定し 來年度から斷然生徒募集中止

【平壤】府内の教育事業を經營する朝鮮ミツシヨン會總會第七日は一日午前九時から前日と同じく府内景昌里西洋人學校講堂で開催、提案された京城儆新學校、大邱啓聖學校、明信女學校及び平北宣川信聖學校今後の問題を昨日に引つゞき議論した結果、前日一九三九年三月以後の經營を中止することに決定した京城儆新學校に京畿道安岳邑金鴻亮氏が公共事業として適した四十萬圓を金氏道族が經常費のみを貢獻するからとミツシヨン會と共同經營方を申出た點に對しては、京城ミツシヨン館で再び受入れるか否かと協議することになつたが來年三月から新入生は募集しないことに決定、大邱啓聖、明信兩校についても來年三月から同様新入生を募集せず共同經營者たる南北長老會と今後の處置を協議、新財團を組織せしむるか、或は廢校にするか、何れかに決めることにし、宣川信聖學校は朝鮮人側から五萬圓の出資を求めて財團を組織經營を繼續せしむることになつて同五時散會した、京城、大邱の三校を朝鮮人側にその經營を讓渡するとしてもニユーヨーク本部の許可を要するもので平壤崇實三校の承繼問題から推しても前途はすこぶる憂慮されてゐる、なほ前記四校現在の在校生數は宣川信聖五百名、京城儆信五百名、大邱啓聖五百名、明信女二百名である

肺患者五十名 結束して起つ

專門醫增員等を強硬に要求 海州療養院の受難

【海州】健康海州の恐怖的存在として強て移轉を要望されてゐた結核療養院が今度は自體の不充實から内部の騷動を惹起し世にも珍しい患者のストライキをはじめた海州結核療養院内に入院加療中の結核患者五十名は去月廿九日病院附屬救世堂に院長ホール氏と會見し患者代表の要求は五十名患者の連署捺印せる陳情書を院長に手交し專門醫師增員、看護婦增員、設備充實、診療回數增加等を要求したところ、院長は最初は患者一同の要求を不當と難じたので一部患者は院長のこの不誠意に激昂して暴行を加へんとするまでに形勢惡化したので院長は〃理事會を招集して善後策を講ずるから十日間の餘裕を與へられたい〃と折れて出たので患者一同もこれを納得し療養院當局の態度を靜觀中であるが、この騷動は前代未聞の珍事件だけに一般はその成行を注目してゐる

回答を待ち 總退院決行

ホ院長は飾りもの 患者たちの言ひ分

海州結核療養院の珍ストライキ事件に關し患者の主張は大體次の通り

院長ホール氏は名目だけで診察治療はなさず主に副院長格の金東瑞氏と醫師鄭士永氏とがその衝に當つてゐるが、金氏は同院所在地の王神里が海州邑内に編入前限地開業醫としての資格しかなく從つて同地が邑内に編入した今日は邑内に限地醫を許さぬ當局の方針なので醫師としての資格を失ふわけで結局鄭士永氏のみが有資格醫師である、この鄭氏も本年醫學を出たばかりで勿論結核に對する臨床的經驗に淺いから患者一同は五十名の哀れな難病者の治療を委ねるには現狀の人員では餘りに心細いばかりでなく、醫師手不足から廻診も不十分でありその上看護婦も現在の四名だけでは五十人患者に手が廻る筈がなく、その他醫療器具等の設備不十分で非衞生的であるため到底辛抱しきれない

しかして猶豫期間の十日間以内に患者の要求を容れない場合は現在の入院患者は一般同病患者のため犧牲となるの悲壯な決心のもとに治療を拒み總退院の覺悟を決めてゐる模様で、同問題の進展如何は由々しき社會問題として成行きを

物騒な街燈

笠が落ちて 通行人怪我

【大邱】物騒な街燈——一日午前十一時頃慶山郡珍良面新上河金麒麟は大邱府の銀座街元町一丁目を通行中アンゴラ商會前の鈴蘭燈の丸い笠が(高さ約廿尺)落下して同人の頭にあたつて破裂し頭部顔面に負傷鮮血に染つて昏倒したのを通行人が救助し附近の越智病院に擔ぎ込み手當を受けたがガラスの破片が頭部顔面に刺さり全治まで二週間以上かかる見込み

三人兄弟泥

晉州を荒す

【晉州發】去る廿七日晉州榮町貴金屬店のウインドを破つて貴金屬三百餘圓を盜んだ怪盜があり晉州署で搜査中の處廿九日黄金當時盟の金ボタンを賣りに來た青年があるので取調べた處晉州明治町に巣喰ふ金南碩(二二)を頭とする三人兄弟の泥棒の仕業と判明前記三名を逮捕餘罪ある見込で取調べ中

細君剃刀自殺

【馬山】三十日午後三時頃馬山府石町金物商村上照一氏妻初枝(三)さんは自宅二階八疊間で鋭利な日本剃刀で咽喉部をかき切り鮮血に染つて虫の息となつてゐるのを照一氏が發見直ちに元町派出所に屆出ると同時に松原醫學士を招き百方手を盡したが遂に絶命した原因は極度の神經衰弱から世をはかなんだものらしいと

西郷隆盛

泥棒の手から 古物屋に出現

【大邱】西郷隆盛遂に古物屋に現る——二十九日午後四時頃府内大和町八四古物商李根和方に南洲の銅像を二圓で賣却してゐるのを大邱署員が發見取調べると同大和町稻田榮藏方の南洲の銅像が二十四日夜何者かに竊取されてゐることが判明、嚴重手配中の處同午後十時頃明治町某飲食店で遊興する府

大膽な掻つ拂ひ

集金の店員を襲ふ 自轉車乘逃げ失敗

【釜山】卅日午後一時四十分頃府内寶水町二丁目高橋方店員張元奎(一七)が集金のため同町を通行中横合から飛び出した男がイキナリ同人の持つてゐた現金十四圓入りの集金袋を括りつけた自轉車を掻つ拂つて逃走せんとしたので驚いて救ひを求め通行人の應援を得て漸く取押へ釜山署へ突き出した右は府内大新町生魚商金奉出(三七)といふ無法者である

大邱のコソ泥

【大邱】卅日朝大邱署大城、梱兩刑事は府内京町中央病院前で一怪漢を逮捕したが右は達城郡月背面上洞一八三生れ住所不定都成基(二四)で彼は本年五月窃盗罪で大邱地方法院で起訴猶豫の判決を受けたが、その後一月も經たぬ六月十三日府内元町一四七磯部料理店から現金十七圓在中の蟇口を窃取した外數件のコソ泥を働いたものである

内大國町二二八金國琪(二九)を逮捕追及の結果犯行を自供した

銀貨僞造犯起訴

【釜山】釜山署で逮捕した五十錢銀貨の僞造犯人、府内水晶町九六七前科三犯趙相文(三〇)は釜山地方法院檢事局岡田檢事の手で取調べ中のところ通貨僞造行使詐欺罪として卅日起訴した

身代金値下げ

教育と商賣を混同した末路 義明校何處へ行く

【平壤】三十餘年來の教育事業も突然誠意を失ひその經營を斷念、今後の經營を朝鮮人側に讓渡することを言明した平原郡順安面所在安息教系義明學校では、適當たる後繼者を物色中であるが教育事業を商賣と混同するが如き身代金三十萬圓要求に經營希望者の名乘り出がないので、昨今では八萬圓でもよいとの態度を示してゐる

羅津税關店開き

【羅津】羅津北鮮貿易の重要性に鑑みいよいよ仁川税關から獨立し咸南、北二道十一の支所を管轄することになつた羅津税關開れの開廳式は一日午前十一時からこの程漸く新築なつた埠頭ビル(正面一、二階)の新廳舍で擧行、來賓として本府林財務局長、仁川、圖們の税關長、兒島咸北知事以下羅津、淸津、雄基、羅南の官民有志多數を招いて新生羅津税關の前途を祝福、式を終つて引續き料亭花月で祝宴を開いた、なほ初代税關長は平壤税務監督局税務部長小田島嘉吉氏が榮轉、既に廿九日着任した(寫眞は掲げた新看板[illegible])

幼兒列車に觸る

【大田】一日午後二時頃三一列車が井邑、四街里間を進行中線路側に遊んでゐた子供が列車に觸れ重傷を負ふた、取調べの結果井邑郡井邑面山里安秉烈長男安一顯(四)と判り手當て中

四人組の竊盗團

大田を荒す

【大田】最近府内の竊盗事件頻發に大田署では苦心搜査中の處去月二十六日夜大德郡東面秋洞里生れ鄭紹前科一犯朴才童(二一)錦山生れ白錫圭(二三)をはじめ住所不定の鮮人四名を逮捕嚴重取調べ中であつたが三十日に至り竊盗團を組織し五月以來二十二件も稼いだことを自白した被害も相當甚大で引續き餘罪取調べ中

飛んだ木枕 眉間を割る

命懸けの夫婦喧嘩 細君もろくお陀佛

【大田】妻の頭に木枕を投げつけて殺した瑞山邑内里金榮國(三七)は七年前權貞姫(二三)を娶り同棲中貞姫は二年前から顏面身體數ケ所に腫物を生じ手當をしたが全快せず家計困難のため榮國は同里明月館料理屋に雇はれ僅かの收入で糊口してゐたが充分治療出來ない貞姫は常に苦情をいふので夫婦仲もとかく圓滿を缺いでゐたが廿六日午後二時頃口論の末木枕を投げつけたが右眉上部にあたり長さ二寸位の裂傷を負はせ遂に貞姫は廿七日午後一時頃死亡した右事件を瑞山署員が探知し廿八日榮國を逮捕すると共に死體を解剖に附し取調べ中

江華合一普校

昇格祝賀會

【江華】今回普通學校に昇格した合一學校では去る三十日午前九時半から同校大講堂で朴郡守をはじめ官民三百餘名列席の下に昇格祝賀會を開催、申要容長をはじめ來賓多數の祝辭があり、勤續教師金泰一、高明錫、金順、吳哈章の四氏に同窓會から表彰狀と記念品を贈呈、ついで同校學兄二名に對する奬學資金授與式を擧行して閉會した

金鑛主受難

現金や地金雲隱れ 容疑の二鑛夫お縄

【大田】二十八日午前三時頃公州郡牛城面潟大里辰人成鑛山方で就寢中の鑛山主李殷直氏の寢室に何者か侵入し現金三百圓、地金百匁「時價千二百圓」革製カバン、印鑑其他を竊取されたので公州署で活動の結果同里鑛夫吳任植(二二)同鑛夫申林性熙(三一)の兩人の行爲とにらみ搜査中の處任植は二十八日、性熙は二十九日遂に逮捕された

宛ら第二の白々教

取調べの進捗と共に被害は益々擴大 咸興署が檢擧した某邪教

【咸興】咸興署高等係では桑迫主任が刑事四名を帶同、平壤に出張して甲山郡寶蘭面趙夢謹(五〇)及洪氣圭の兩名(何れも假名)を逮捕進行の上或種の類似宗教事件に付き調査を進めてゐることは既報の通りであるがその後事件の進捗と共に事件は白々教の卵ともみられる類似教徒の被害は相當莫大なものらしく、平壤を根城に甲山、利原、端川、興南、定平の各隣接に教徒千餘人を抱擁し被害金額は數萬を算してゐる、事件の内容は詳ではないが

教主趙は昭和初年頃支那方面に渡り、數年間に亘り神通力の修行を極めたと稱し同五年頃來鮮し人智未だ暁き甲山奥地で無智な良民を欺瞞し自分は神通力を體得して萬里の眼力を有してゐると甘言を弄し良民から多額の金を捲き上げ病人の施藥には娘の月經を飲ませたり塗らせるなどあらゆる曖昧な奸策の限りを盡してみたもので被害者の中にはこの荒唐治で生命を取られたものもあり、或者は家運隆盛に祈禱錢として四千圓も取られてゐる、その内容は相當複雜を極め、事件の進捗と共に登場人物も多數に上る見込みである

公衆電話荒し

チンピラ失敗

【咸興】去る卅日午前零時ごろ咸興驛前公衆電話室に擧動不審な少年が電話機をいぢつてゐるのを警察官が發見構内派出所員に急報、警官が取調べると右は府内榮町二丁目徐順愛次男、孫啓浩(一五)で小刀で電話投錢函を破壞し在中の金を竊取せんとしたことが判明、目下咸興署に留置取調べ中であるが餘罪ある見込み

川に溺死體

他殺の疑ひ

【大邱】一日朝大邱府郊外院垈洞鍾馬場附近の川に卅歲位の朝鮮人婦人の溺死體があるを通行人が發見大邱署で檢證の結果頭部に負傷の箇所あり他殺の疑ひから司法主任は大邱醫官を伴ひ現場を檢證し死體を解剖に附し身元その他調査中

武道講習會

【永同】郡教育會では去る二十六、七兩日警察署演武場で小年劍道、野田柔道兩師範の下に懇恩、三竹、山外、水汗各普通學校教員ほか兒童を集め武道講習會を開いた

選擧違反

一味六名に判決言渡し

【井邑】扶安邑選擧違反關係者林承化氏の選反事件は其後井邑支廳で審理中の處去る六月二十八日公判に附せられ七月一日午後一時左の通り判決の言渡しがあつた

懲役六ヶ月林承化▲罰金二十圓林金奉▲同四十圓金泰鉉▲同三十圓崔在洪▲同七十圓李賢圭▲同七十圓高斗柏

退學處分者に同情し 上級生が騷ぐ

果然主謀者二十餘名を檢擧 安州農校の不祥事

【平壤】既報、安州公立農業學校では上級生數名が中心となつて學用部共同購入問題に不滿を抱き校長及び某教諭を排斥すべくストライキを決行せんと企圖せるを反對生徒の密告により發覺され、去る廿六日主謀者五年生李範俊外二名と四年生一名が退學處分を受け、同廿八日實習用の農園を荒したかどで四年生十餘名が無期停學處分に附されたが、これ等不都合な者に同情せる上級生數十名は俄然三十日に至り不穩な策動を開始し情勢穩かならざるものがあるので、安州署では主謀者とみられる生徒廿餘名を檢擧嚴重取調べを開始、一方道警察部高等課でも數十名の上級生が一團となり或る種の不穩な策動を行つてゐる疑ひあるので或は思想問題が潜んでゐるのではないかと事を重大視し一日朝荒井警部補が現地に急行した、なほ今回の不祥事惹起は安州教育界空前の忌しい事件として一大センセイシヨンを捲き起してゐる

在學生の放火

叱責された怨みで 薪に石油迄かけた大膽振り 楚山公普校の怪火

【新義州】去月六日午後十時楚山公普校々舍東面から出火した學校火災事件は附近のものの發見によつて大事に至らず濟んだが、附近に石油をブッかけた薪のころがつてゐることから放火と睨み楚山署で犯人搜査中のところ、意外にも犯人は同校在學中の六年生某(一七)と判明した、放火の動機は某が受持の先生から叱責されたのを逆恨みに思ひこれが報復手段として放火したといふにあるが、薪に石油をブッかけてまで學校を燒き拂はんとした十六歳の學童の仕業は平北教育界の一大不祥事として學務當局ではこれが對策に腐心してゐる

釋文寺入佛式

【慶州】郡内金 沙面舘 志家金英氏がかねて新築中であつた釋文寺及淸川禪院が竣工したので去る二十八日盛大なる入佛式と奉安式を擧行、京城曹溪宗住持をはじめ附近各寺の代表者が出席し盛能であつた

ラヂオで主探し

京釜線荒しの列車魔被害 さつそく殺到の態

【大邱】京釜線の夜行列車を荒した列車魔大邱府南山町二四七金國祚(二三)は去る六月十日逮捕され被害品は府内質店から續々發見されてゐるが被害者判明せず搜査に困つてゐた大邱署では二十八日午後七時京城放送局のニユースとして放送し被害者を探したところ効果覿面で被害者殺到の態である

些細な事から 妻女を慘殺

恐ろしく短氣な男 近く咸興でお裁き

【咸興】不滿な妻の態度に憤慨しその妻と更に妻の實母まで慘殺してしまつた短氣な男、慾に眼が眩んで會社の金をチヨロマカした重役連……この二つの公判が何れも近く咸興地方法院で開廷される

その一…新興郡永高面興盛里李錫興(二七)は妻韓正順(二二)と昭和十年十二月十日結婚したが以來夫婦の折合ひ惡く家庭爭議の絶え間もなかつたが、本年四月九日午前五時ごろ妻に朝飯の準備を急ぐやうにと言付けたところ正順が反抗の態度に出たので性來短氣の彼は一時にカッとし炊事場に置いてあつた薪割斧で妻の腦天を一擊し昏倒するや更に頭部、胸部を亂擊し慘殺なほも血に狂つた彼はこれを制止した妻の實母金氏(四九)にも斧で頭部に切りつけ、腦髓に達する重傷を與へて同女をも慘殺した事件は去る廿八日咸興法院合議部に廻附、近く公判開廷の筈

その二…府内魚菜株式會社長下坂直三(四二)及び同社前取締役にかゝる詐欺、業務横領、背任事件は咸興法院で審理中の所去る廿九日附豫審終結、有罪に決定これも近く公判開廷の筈

平南辭令 (三十日附)

平安南道土木技手に任ず 櫛橋 健五
内務部土木課勤務を命ず 森田 諒一
今福 東一
平安南道産業技手に任ず 淸田 石二
糧菜取締所勤務を命ず
平安南道産業技手に任ず 井上 昇
江西郡在勤を命ず
産業技手 赤松 魁
平原郡在勤を命ず
川原 敏郎
平山 一馬
任道技手内務部土木課勤務を命ず 山崎 清二

水原高農 修學旅行

【水原】高等農林學校農林學科三年生六十名は修業旅行の爲卅日廣田、山田兩教授引率の下に北九州關西、關東方面に出發、十七日歸校の豫定、尚二年生以下もそれぞれ鮮内旅行の筈

あどばるん

◇…興南邑の土木を牛耳る山下御大寒中でも夏服といふ心臟の強い巨酒の持主
◇…椅子に尻をドッシリおろして萬年筆屋の看板よろしく天下一品の萬年筆を片手に道當局へ抗議の[illegible]
◇…諸材料が暴騰して道當局の方針とは言つても南鮮と北鮮を同一視されてはたまらん
◇……道當局の方にお願ひします[illegible]さの那巨頭氏に少しのご同情を…

る羅津・雄基の展望

銀行の窓口からのぞく
貸出の驚異的激增
企業旺盛と流動資金の枯渇を物語る

鮮銀雄基出張所支配人　中村直次

苦節十年　見事實を結ぶ
北鮮時代の寵児
東洋炭業の林岩太郎氏

漫談　"台灣の雄基"とはちと聞えませぬ
この認識不足も今は昔
殖銀支店長　村尾俊雄

羅津府廳

羅津府マーク懸賞募集
（締切八月五日）

趣味と學藝

―三國時代―
＝玻璃杯＝

出土地慶北慶州邑、所謂ローマングラスの系統にして古新羅の陵墓より發見せらるもの尠からず、圖は淡青硝子面に蛸色の硝子粒を點着す、口徑三寸五分（本府博物館藏）
―紙上博物館―

このごろの金剛山（1）

加藤松林

金剛山へはいりはじめてから十四五年になります、最初行つた時はまだ汽車も電車もない頃で勿論近頃のやうな立派な山中の登攀路などもありはしない、現在のやうに多くの人が出かけ、山中の交通と宿泊が便になつたのは、やはり久米山莊が毘盧峰に出來てからだと思ひます、交通と宿泊――之が年一年と多くの人を金剛山へ招くのであつて次第に整ひ便利になるのは大變結構なことであります、金剛山は全く遊びに行くにはいゝ山でその眺望は言ふ迄もなく、登山といふ程ではないから支度は簡單でいゝし所々の寺や溪流は自然と休息を採るやうに出來てゐる、人が多く出かけるに連れて山の俗化などいふ事が問題になるかも知れないがそれよりも僕は山が荒らされるのは水害が第一だと考へます、豪雨のために崖くづれがして苔むした巨岩や老松が無慘にも根こそぎにされ山肌に赭土が露出して居るのは全く山中の氣分を滅茶苦茶にする、あれだけは何とか防ぐ方法がないものかと今更ら自然の暴威をうらむのです

◇

今度は内金剛からはいつて外へ拔けて歸りました、はじめ「背景に金剛山の見える風景」を探すつもりで出かけたのが途中斷髮嶺あたりへ一寸下車して見ただけで結局、また山の中へ這入つてしまつて寺や庵などのたい建物と雄大な山容との調和を探して歩くことになつてしまつた着いた日の午後は手近い玉泉庵地藏庵、少し足を伸ばして靈源庵、それから安養庵と見て廻り歸途は長安寺へ立寄つて夕暮れになつてしまつた。畫材になる所もあるし一向につまらない場所もあつたが、そんなことに關らず全く靜かな樂しい心遊むやうな半日でありました（つゞく）

犯罪へ科學の挑戰【上】

警報を鳴らし寫眞もとる

僞物の鑑定・泥棒除け

科學の發達應用は、防犯方面でも目覺しい進出を見せ、如何な怪盜でもしつぽを卷きさうな装置がいくつも發明されて居る。例へば泥棒がくらがりの部屋に手探りで這入つて來ると、何にもさはらなくても直ちに之を感知し自動的にベルやサイレンを鳴らし、警官や夜警の詰所に信號し、泥棒の寫眞を撮り、又は催涙ガスをお見舞申したりするものがある。此の装置のおかげで知らない間に寫眞を撮られ、簡單に逮捕された泥棒の例は米國では既に澤山ある

今 一つの器械は、歐洲で廣く使用されてゐるものだが、泥棒ばかりでなく火事も防げる。この器械は泥棒が這入つたり、火事が起つたりすると、夫々の場合に應じて、警察署か消防署へ、又その建物の所有者への電話のダイアルを自動的に廻し、ロボットが夫々の電話に、明瞭な、落ち着いた人間の言葉で、何事が起つてゐるかを報告するものである

以上の二つは、何れも光電氣によつて働くもので後者のロボットの聲は、蓄音器のレコードに依るのである

金 庫や貴重品の保護には以前はその附近にマイクロフオンを据ゑ付けて、近寄る者の立てる音をピックアップし、之を夜警の詰所に通ずるやうにしてゐたものである 併し今では、之にはラヂオの電波が利用され夜盜が金庫の附近二十米に近寄れば、自動的に、警鈴が鳴る仕掛けになつて居る。此の理窟を判り易く言へば、要するに、侵入者の身體から發する放電、又はラヂオの放射が、警鈴装置の微妙な電荷の均衡を破る爲め、電鈴が鳴るのである

防犯用の光電氣の装置は、人間の眼に見えない光線を利用する所に其の價値がある。使用されるのは赤外線である。赤外線は、人間の眼には見えないが、此の光線を光電氣の電池に放射して置くと、此の放射が斷たれると光電氣装置はすべての必要な活動を起すのである。夜盜が這入つた事を感知するのも、夜盜が其れとは知らずに此の見えざる光線の放射を横切りそのために放射が斷たれるからである

光 電氣を利用して、寶石商の飾窓を保護する装置がある。之は、例の煉瓦で窓硝子を叩き破つて、飾窓の商品を掠めようとする惡漢に備へるもので、窓硝子が振動すると三十分の一秒間に、飾窓の床が下降し、飾窓中に商品は、全部落下し、其の上に、今までの床の位置に、鐵板が背部から飛び出し、完全に商品を蔽ふしてしまふ装置である。之では如何に早い泥棒でも手を出す暇がない

不連續線

隣の細君

「おい。今度隣へ越して來た細君は、なかく若いな」

「さうですね。幾つ位でせうか知ら」

「さあ。兎に角、及川道子みたいな顔をしてるぜ」

「すぐ、それですからね」

さういつてゐるところへ、裏口で女の聲がした。出て行つた妻が歸つて來た。

「噂をすれば何とやらで、あの奧さんが卵を借りに見えたのよ」

「さうか」

翌日の夕方、私が玄關を入るのを待つてゐたやうに、妻が中から飛んで出て來た。

「ね。あの隣の奧さんですがね」

「うん。あの及川道子か」

「えゝ。けさ、卵を借りに來たんですよ」

「越して來たばかりだからな」

「ところがですね。今しがた、また、胡麻油を借りに來ましたわ」

「ほゝう。相當なもんだな」

四五日してから、朝、妻が寢てゐる私をあわてゝ起した。

「ね。お隣は、ゐないんですよ」

「早くから外出したもんだな」

「違ふの。引越したんですよ」

「へえ。お前、知らなかつたのか」

「えゝ。少しも」

「ちや、夜逃げか」

「お氣の毒ね。及川道子さんがゐなくなつちやつて」

「馬鹿」

何だかスッとした氣持だつた。

無殘な姿となつた ピカール教授の氣球

【ゼルリッヒ＝ベルギー發同盟】成層圏の探險家として有名なピカール教授は去る二十五日ブラッセル郊外ゼルツヒから今年最初の探檢飛行を行ふ可く準備中の處、突如爆發、計畫中止のやむなきに至つた寫眞は準備中の輕氣球と突然の爆發に呆然とするピカール教授（上）と氣球（下）

幸四郎を見る迄の話【中】

高井春悟樓

今度の呼物中の呼物は幸四郎の辨慶に在ることは言ふまでもない、勸進帳は人も知る歌舞伎十八番中の代表劇であるが、最初元祿十五年二月に元祖市川團十郎に由つて上演以來、市川家のお家藝とはなつて居るが當時のものは非常に原始的な幼稚なものであつたので七代目團十郎―海老藏―は常にあきたらなく思つてゐたが偶々南部の『義經都落ち』の謠曲を聞き能の『安宅』の仕舞を見るに及んで彼は遂に能と歌舞伎とのカクテル『勸進帳』の一大創造を思ひ立つに至つた

◆◇……

即ち天保十一年三月河原崎座に於て元祖市川團十郎才牛百九十年の壽、歌舞伎十八番の内『勸進帳』を上演した、之が今日行はれて居る勸進帳で當時の役割を調べて見ると辨慶（海老藏）義經（八代目團十郎）富樫（九藏）で三代目並木五瓶の脚色、振附は四代目西川扇藏、節附は四代目杵屋六三郎、長唄は芳村伊十郎、四代目岡安喜代八であつた

◆◇……

そして九代目團十郎の『勸進帳』は其當り藝の最たるもので市村座における初役以來生涯に十六回演じて居るが、特に彼が光榮とすべきは明治廿年四月井上侯邸における天覽勸進帳である

◆◇……

現代の辨慶役者として幸四郎ほどその柄容貌聲量舞踊の點にかて此辨慶によく當てはまつた人はなく正に當代隨一で既に國寶的存在たるを失はない、それもその筈、幸四郎は今から五十幾年前の明治十三年僅か十一歳にして市川家に弟子入りをなし明治廿年四月の天覽劇の時初めて四天王に出て更に其年の六月新富座の中幕に同じ四天王で出て居る、其後廿三年と廿六年には後見を勤めてゐるが九代目團十郎の最後の勸進帳となつた卅三年四月の歌舞伎座では又四天王を勤めてゐる、斯くの如く幸四郎は少年時代から不出世の名優九代目團十郎に師事して居ただけに總ての型は師匠讓りで正に九代目の直流とも見るべきで明治三十九年五月歌舞伎座に初役としての辨慶を演じた時は非常な好評を博したさうだ、爾來今日まで各地で演じた回數は驚くほどで恐らく本人に聞いても覺えて居ないであらうほど手馴れたもので、既に團十郎を超越し幸四郎が辨慶か、辨慶が幸四郎かと言はれて居る【寫眞は幸四郎の河内山】＝筆者高井氏は朝鮮郵船營業課長で劇通＝

呼物"勸進帳"は五日間通し上演

幸四郎一座あす開演

待望の幸四郎一座は明三日から五日間明治座に開演する、三日目からの二の替り狂言は左の如く決定呼び物中の呼び物『勸進帳』は五日間通して上演する

◇二の替り狂言 第一『鼓の里』一幕▲第二『大森彦七』一幕▲第三『本藏下屋敷』二幕▲第四『勸進帳』一幕▲第五『廓の賑富』▲第六『勢獅子』一幕

なほお目見得三日までの各な開演時間は左の如くである『寶船』四時▲『先代萩』五時三十三分▲『鈴ヶ森』六時三十分▲『勸進帳』七時四十分▲『河内山』九時八分▲『紅葉狩』十時二十八分

入場料は指定席特等十圓、同一等七圓

今晩のラヂオ

六時三〇分新興日本の英傑（東）東京放送童話研究會▲七時三〇分管絃樂（東）日本放送交響樂團▲八時二〇分漫才（京）ミス・ワカナ▲八時四〇分浪花名作でろひ（東）宮崎吾昇外▲九時時事解説（大）阿部賢一 [illegible]

新刊紹介

▲朝鮮地方行政（七月號）『滿洲國の民政一般』『朝鮮の類似宗教に就て』等（五十錢、京城、黄金町二、朝鮮地方行政學會）

▲財政經濟時報（七月號）特輯『郵政局と貯金』（四十錢、東京・日本橋・吳服橋二ノ一、財政經濟時報社）

▲今日の問題（七月號）『金の現法と爲替の問題』（十三錢、東京・芝・田村町四ノ一、今日の問題社）

▲草の實（七月號）（二十錢、京城昭和町二十八、草の實社）

▲若草（七月號）美意識の問題は矢崎、瀰沼、保田の三氏、世界大戰開戰前後に生れた世代に特有な或る感情を盛つたさういふ意味で新鮮な編輯（三十五錢、東京市日本橋區室町、寶文館）

夕立勘五郎 (50)

神田伯治演　藤井耕選畫

武助の最後

武「以來お家に稲つた、是は此[illegible]細でみんなが遺にすからといふので、殿様から十両の金を戴きまして、それから其おはるを連れて、生れ故郷の此新町へ歸つて參りました、其時出來た子供が、銀之助と申しまして是は今此先で荒物屋をいたして居ります。嫁を持ち今では子供が二人も出來ました、其時のおはるもまだ達者でございます、是程までに御恩を受けた御厩の若旦那、銀三郎様が今日河原で私に助けて呉れろといふお頼み、私は若旦那様に御恩も義理もないが大殿様に受けた御恩があり、それに若旦那の仰しやるには、江戸へ行つて磔刑兇状持となれば天下の御本の恥辱だに依つて、助けて呉れろと頼まれました、據ろなく私が助ける氣になりまして、マア斯ういふ始末になりましてございます、夫から銀三郎様を平[illegible]を明けて、私が逃した所を能く存じて居ります、能くにも何にも、是ア私が逃したんだから知つてるのは當然です、而ぐに腹を斬つて私は、其場で死んで、貴郎方へお詫をしようと思ひましたが、平前が受けた恩を返したからといつても、兩手に死んぢや貴方へ申譯がねえ、是れア[illegible]の師匠様の手に掛つて死んだ方が宜いだらうと思ひ、ソコで面を被つて是へ參りました、どうか伊賀屋さんとやら、貴所様から師匠さんへ宜しくいつて下さいまし、自分で兩手に死ねば師匠様へ申譯がねえからと思ひ、夫れにまた、貴郎方に斬られて死なうといふ、其の了簡で參りました、どうかスッパリ首を斬つて頂きたう存じます」

と[illegible]武助が、首を前へと差伸ばした、一同涙を流して聞いて居たが、中に團五郎が膝を叩いて、

勘「アヽ武助さんとやら武田さんとやら、年を老つても武家奉公をした人は別だ、初めてもの事にお前さんの了簡が百分の一あつたら大河原源三郎さんも、此んな悪事を働きやしなかつたらう、お前さんとは雪と墨だ、アヽさうですかイヤ夫で分りました、若殿をお助け申せば貴郎の思惑も立つた。サア一緒に行つて呉れの、お前さんが逃したんだから知つてゐるといふ事を云つたから、どうか貴郎が逃した先へ行つて、是から取逃まへて呉れろといふのぢやアない、是から先へ逃げられて了つたらお前さんに何處へ行つたといつて聞きもしない、お前さんを私が遁しもしませんが、どうか道を一ッ教へて頂きたいのです」

武「サア、夫は御尤もです、御尤もですが貴郎に打たれないで優しく云ふ事を云はれますと、釘を打たれるよりも私は辛うございます、けれども一旦私が逃した者を、何ぼ行つても私は何處に居るとはいはれません、假令矢張鋸挽磔の火責め水責めは愚か、背を割つて鉛の熱湯を注ぎ込まれましても、云ふ道ひはございません」

どうしても此の武田武助が白状しない、團五郎が、

勘「アーさうですかい、御尤もだ。御道理だが、お前さんと云ふ人は一を知つて二を知らない、どうだな」

武「ハイ」

勘「お前の恩人の源三郎といふ人は、知つてるかどうだか知らねえが、師匠さんの娘を無理を仕損こなつて、師匠さんに目附かつたのが面目ねえと、其の師匠様を殺して立退いた奴だよ、ソコでお前さんが是を助ければ、毒を喰へば皿までと、是から先どんな悪い事をしねえとも限らねえ、シテ見るといふと、お前さんが恩を恩つて其恩を返したが爲に、毒を世の中へ流して置いて、世の中の人に難儀を掛けちやア、何ぼお前さんが恩返しがしたいからといふて、夫ぢやア世の中へ對して濟みますめえ、サアどうか此事が分つたらば話をして聞かして下さい……ネシ、オイ、武助さんてえのに……下を向いて默つていちやア分らねえ……おや、涙、訝しいぜ」

立つて居つた團五郎が、襟へ手を掛けて、グイッと起して見ると舌を嚙んだと見えて、ダラ〳〵と口から血汐が流れ出て、ウーンと云つたのが最期、其儘死んで仕まつた。

皇紀二千五百九十七年 昭和十二年七月三日 京城日報 (日刊) 第一萬六百四十四號
京城日報
日本共立火災
エレメントス 美容的効果
皮膚の病 水虫 止
20ヶ ¥35
40ヶ ¥60
金城製薬所
資本金壹億七百貳拾萬圓
三和銀行
京城支店
南大門通二丁目
本店・大阪市
科小兒永德
醫學博士 德永勲
電話(光)1960番
灌漑設備の時期到る
一第界世秀優
ポンプ巻渦式ちくのゐ
ポンプの事なら何んでも直ぐ間にあふ店
秋友商行機械部
京城・岡崎町6
髙
タカのあるところ 堅 價 愈々高し
高杉醤油釀造場
PINES
パインミシン
政府補助
パイン裁縫機械製作所
京城出張所
神戸海上火災
創刊四十周年記念號
實業之日本
七月一日倍大
オール三年倍化の研究
肺病はこの心構へで治せ
景氣の頂點はいつか
經營者中心に見注目二十會社
世界珍談奇談座談會
オール活用秘策
藤原銀次郎氏經營縱橫談
郷誠之助男人物縱橫談
四十年の回顧と將來の希望
附録・府縣別陸海軍大將輩出地圖
實業之日本社
陸軍少將大場彌平著・國家的大出版成る
われ等の空軍
全國民總動員 空の生命線を護れ
將來の戰爭は空軍の優劣で勝敗が決る!!
見よ! 科學戰の魁、皇軍の花 われ等の空軍の壯烈大活躍!!
未來の空中戰の實況彷彿眼前に浮び來る!!
小説のやうに面白い名文章 貴重な寫眞、地圖、統計、三百數十枚入 一讀驚嘆の大内容
イザ戰爭!! といふ場合 日本全土は空襲される 覺悟が必要!!
心膽寒し!! 世界空軍の新情勢!!
定價一圓五十錢
大好評續々重版の二名著
われ等若し戰はば
われ等の陸海軍
刊行元 大日本雄辯會講談社
チ専門 野崎肛門科
朝鮮貯蓄銀行
金銀白金 京城德力
コルセット 義手足 髙野義肢製作所
大學堂眼鏡店
各眼科病院處方眼鏡責任調製
今村病院
小供百日咳 シンコウ
百日咳
新井藥房
新時代の強壯劑
ビオトニク
植村製薬所

社説 ロータリークラブの活動

朝鮮におけるロータリー・クラブの現狀は、京城、釜山、平壌の三クラブがあり、近年著しき發展ぶりを示して、今後商業、文化諸方面の進展に伴ひますく會員の増加を見る機構であり、大邱その他都邑の地には新クラブの誕生を見るのではないかとも見られる。殊に明年五月には、同クラブの全國大會が京城に開催されることになつたので、半島クラブ員の緊張はすばらしく、現に準備委員會の設立を見、各方面に周到なる配慮をなし、内地から來るロータリアンに、新興朝鮮の眞面目を徹底的に認識せしむべく努力しつゝある。各職業代表の組織である同クラブは、言はゞ文化商業の全面的ブレーン・トラストであり、その機能の有機的活動が、半島の文化商業の上に及ぼすべき効果につきては、今さらこゝに喋々するの要はあるまいと思ふ。

×

ロータリーの目的は、價値ある事業の基礎に奉仕の理想を喚起鼓舞するに在りて、殊に、

一、奉仕の機會を得る爲めに交友を篤めること
二、業を營み職を行ふに高き道德を標準とし、有要なる職業の價値を認識し、而して社會に奉仕する機會として自己の職業を嚴むこと
三、奉仕の理想を自己及自己の職業並に社會生活に適用する事
四、奉仕の理想を以て結合したる實業家及專門的職業者の世界的友誼を以て國際間の理解、親善及び平和を增する事

以上が大なる目的とされてゐる。これを具體的に言動の上に現すことは、言ふまでもなく會員各自が先づ以て、その日常生活の上にこれを顯現すべきことである。しかしそれだけでは、一臨の獨善主義に陷き易いのであるから、所謂奉仕の理想をば、對社會的に呼びかけ、はたらきかけ、大衆と共に全社會全國家に奉仕の實を招來することに努力しなければならぬ。

×

ロータリーの對社會的對國家的奉仕活動には色々あるにせよ、設立京城ロータリー・クラブが、特に最も卑近な事柄に目をつけて、先づ以て社會的奉仕言動の啓蒙に努力せんとしつゝあることは喜ぶべきことである。例へば、タクシー、電車、汽車等のサービス、銀行、會社、商店等の窓口、店頭のサービス、給仕、ボーイ、女給、仲居、その他各方面の使用人のサービスといつたやうなことが、各職業の代表者によりて考慮され、それを全面的に啓蒙せんとの努力に乘り出すといふやうなことがそれであつて、斯らしたことが、やがて交通道德、公衆衛生といふやうな方面にも及んで行くことになれば結構であると思ふ。固よりこれは著しく卑近なことであるにせよ、半島の都市においては、可及的速やかに斯らした公衆のサービス改善が徹底化訓練される必要のあることを否むわけには行かないのであるから、京城ロータリアンが率先斯らしたことに乘り出したといふことは歡迎すべきである。

暗迷北支を視る

大阪特派員

その十四

私は過去、現在に於て蹂躙を征伏して來ました、未來に起るであらう所の總ゆるゴタ〳〵も萬難を排して邁進して行きます、"冀東解消"などは恰度犬の遠吠えと同じことで、全然問題にはならぬ、冀東地區は我々七百萬民衆が協力して作つたのである、そこで内、外、滿の人々は時々飛び出す"南京政府再吸收云々"の冒瀆に迷はず、我々と同じ線で歩んで下さい、今の南京政府には何の器もない、冀東は内地の九州と同じ位の面積で、人口は七百萬人です、冀東政府が成立すると同時に約五百種に亘る排日教科書の撤却を斷行し、眞面目な教科書を編纂しました、石炭、鐵、棉、その他の地下資源の調査が出來上つたので、これを基礎として來年から産業開發五ケ年計畫を實施することに決定、今立案中である、この完成の力を待つて北支は勿論全支に向つてじり〳〵と押し進んで行きます、南京政府は表面派手だが、内訌が常に繰り返されてゐるので、何年かの後にはこの角力の結果をつけますよ、北支でいろ〳〵な變態な問題が起る度に朝鮮人の姿を見ます、北支在住一萬の朝鮮人も今の行き方を清算し、正業に就くことが北支を一日も早く明朗にする近道です、それには先づ土地を與へることです、そしてその土地に鮮人が集團し、良き指導者を得て、眞面目な生計をたてることです

◇

私は冀東管内に近く朝鮮人のため土地を開放する決心です、そして水田耕作ばかりでなく、多方面に亘つて心配してやる積りです、そして平和で豐な朝鮮部落を建設して、その特長を生してやりたい、この意味から北支五省に個々に散在してゐる朝鮮人は一日も早く雜居生活を斷ち集團生活を始めることだ」

◇

殷汝耕氏の夫人は大阪出身の井上民惠さんと云ふ女傑だ、殷氏の今日を築いた半分は夫人の力があると云はれてゐるが、ことに女ながらスパイや暗殺團を向に廻して、日支兩國の平和工作に努めてゐる裏には日本人として胸をうたれるものがある、彼女も殷氏と同様日支工作のためにすでに死を覺悟してゐる、そして夫人は凜々しくも次の樣に語つた

「冀東政府成立は主人も私も堅い主義と信念のもとに起したものです、生命はもとから捨てゝかゝつてゐる事です、何とかして日支兩國のために盡したいからです、主人は日本とか、日本人とかについては深い理解をもつてゐて、南京政府の云ふ樣なことは到底日本に受入られる筈がないと云ふことを好く知つてゐます、これまで色々と了解の行く樣に努力したが、どうもうまく行きませんでした、今は唯だ北支民衆のためと以外には何もありません、この間も上海の新聞に『殷汝耕は夫人が日本人だしまた前の滿洲國々務總理鄭氏とは親戚關係だから自然日本にかぶれるのだ』と書いてあつたが、主人は決してそんな薄弱な理由で北支に旗を揚げたのではありません、唯だ『北支民衆のため』あるのみです、此の頃は私達の自動車番號もスパイに調べ上げられてゐると云ふことですが、人間は百年も二百年も生きてみられるものではありません、無駄に恐してゐるよりは日支兩國のため潔く散つた方がどれだけ死に甲斐があることでせう」(終り)

大阪の豆炭市場統制 本月より愈よ實施

多年の懸案漸く解決

生産數量販賣價格等の協定成立す

大阪に於ける豆炭工場の生産販賣統制の成否如何は無煙炭に重大な關係があるため多年の懸案とされてゐたが、五月廿日大阪で開催された第二回無煙炭會議を好機として總督府新務局無の兩炭坑及三井、三菱、安宅の無煙炭販賣會社及十四製造工場の間に統制の協議が進められ、六月末に至つて細目協定を終め七月一日より生産販賣の兩統制を實施することとなつた

即ち大阪の豆炭市場は四大製造工場及び十中小製造工場が濫立し相互に低廉を競つて販賣競爭を行つた結果豆炭の品質低下を來し、豆炭の販賣上にも暗影を投ずることとなつた、この結果中小工場中には可なり傷手を被るものも現れこれが統制は必須とされる狀態であつた、然るに朝鮮無煙印炭の輸入減退による朝鮮無煙炭の需要增大と、豆炭原料品たる木炭の生産不足による價格昂騰は豆炭の販路に好刺戟となり、統制の促進に拍車を加へることとなつた

而して統制内容は本年度の十四工場の豆炭製造高を八百萬俵(原料炭十八萬噸)として十四工場に割當て且つ製品の商標及び價格をも一定せしめるもので、新朝無、朝鮮無煙、三井、三菱、安宅の五社は五社會を組織し十四工場と協調して原料炭の供給から生産販賣に至るまで一貫的に統制することゝなつた(中略)事に及んでゐる點が興味深いと考へられる

液體燃料調査準備委員會 二日本府で

第一回液體燃料調査委員會は來る八日本府に召集されるがこれに先立つ準備委員會は二日午後一時から本府第一會議室に六野委員長以下農林、財務、殖産、各關係局課長及び技術者、陸海軍より出席し

一、委員會の機構調査分擔
一、總督府による無水酒精製造計畫による事業の助成
一、ショーラー法による石炭液化助成

莞草スリッパ ◇―アメリカへ輸出

[illegible]に於ける副業生産として莞草スリッパの製造は相當有利とされてゐるが、今回金組事業部の手に依つてアメリカ向け第一回輸出を見る事となり之れが將來に愈よ好望視されるに至つた、數量は見本として一千六百足、朝鮮叺莞産協會の手を經て神戸より輸出される相場は一足八錢乃至九錢にて見當のものである

探鑛獎勵金出願 六月三十日で締切る

新規特種鑛の出願四十八件

本府鑛山課では探鑛獎勵金交附出願を去る三十日締切つたが金山五十八件(内新規のもの廿四件)で特種鑛物四十八件、之は何れも新規出願にしてその内主なるものは銅十二件、鐵一件、鉛四件、亞鉛二件、硫化鐵鑛八件、ニッケル一件、タングステン一件、水鉛四件、アルミニューム二件、黑鉛五件にして本月中技師を現地に派遣して調査の上八月中に探鑛獎勵金を交附される筈である

外車驅逐を蘇聯が目論む

【東京電話】モスコーには目下自家用自動車が七百五十臺あるといふことだが、蘇聯では自家用車を所有してゐる者はスタハノフ運動者、科學者、藝術家、特別の功勞により政府から勳章をもらつた人達といふことになつてゐる

ところで此自家用車の全部が來る七月十五日までにソヴエート製M一號車と取換へられることになつてをり、これによつて舊フォード型の車は一掃されるといふことである

これは聯邦人民委員會議の決定によるもので、この計畫は全ソヴエートに五千臺の自家用車にも及ぶ事で新舊取換によつて生ずる差額金は市立銀行が特別貸出をなし毎月七百ルーブルの收益ある者はその負擔金を二ケ年間に支拂ひ、同じく一千ルーブルのものは一年半、千五百ルーブル以上のものは一年間に支拂ふことになつてゐるといふことで、とにかくソヴエートらしい國產獎勵、劃一的統制が自家用

無電台

個人的希望や批評の投書歡迎・十五字詰四十行以內・編輯局無電台係宛・紙上匿名は隨意なるも原稿には住所氏名明記のこと

―ネオン禍―

貴紙二十九日附朝刊を見ると、本町通りのスズラン燈がネオンに取替へられさうですが本當でせうか。

×

「暗黒の眞只中に文字なりマークなりがパッと浮び出るところにある」んぢやないでせうか。だから最近出來た明治町通りのネオンアーチを御覽なさい まるで赤んぼがクレオンで半紙に落書したやうなあどけなさに微苦笑するは僕ばかりでせうか。然しまあこの方は位置が高いのでたいして目障にならないだけでもいゝ

×

本町通りのあのスズラン燈の位置にネオンを持つて來られてはたまつたものでない。小公園一つが燦爛と狂躁音から逃避するオアシスとかになるさうですが、今にネオンの亂射から逃避出來る樣な大きな暗室にでも何處かへ作らねばなるまい。結局オアシスと暗室が大入滿員で肝心のお店の方へはお客が寄つかぬとなれば懐分氣の症みたいな話です

×

折角の商人方の名案にけちをつけて相濟まんと思ふので代りに私の名案を二三

一、ショウウインドーを物置代りにしないこと
一、ラヂオやレコードは出來るだけ回數を少く而も低聲にこの方がむしろ人の注意をひき好意を感じさせる
一、飲食店の蠅もなくすること
一、店員は素見客を大事にすること等々

(南山町生)

無水酒精工場 愈よ建設に着手

過般創立した東拓直系の朝鮮無水酒精株式會社(資本金五百萬圓)の新義州工場建設については同社の常務技術渡邊政德氏は三月新義州に向ひ愈よ建設事務を開始することゝなつた、同工場は本年中に基礎工事を完了、來年より工場建設に着手、來秋竣工操業の豫定であるが製造機械は約二百萬圓、この内百萬圓は獨逸より、百萬圓は國產を使用する豫定で外國製機械は既に發注した

鮮内米取業績 六月中出來高

鮮内五米穀取引所の六月中總賣買高は五百三十四萬八千六百石にして前年同期に比し二百四萬四千二百石の減少を示した、各取引所別内譯は左の如し(單位百石)

	六月中賣買高	前年同月
仁川	二六、七三	二六、一二
群山	九、七二九	一四、三三七
木浦	三、三四〇	四、三六九
大邱	二、三〇	五五、八五五
釜山	三三三	一、〇〇六
合計	五三、四八六	七三、九二六

鮮内硫安區々

硫安の鮮内各地市況は植付期其他の關係上區々を唱へてゐるが釜山中心の南鮮筋が氣配强硬で三圓八十五錢から九十錢を唱へ、湖南筋は氣配直で三圓七十錢處、京城を中心の中鮮では三圓七十五錢から八十錢處、西鮮は三圓八十錢處を保つてゐる

天龍關を迎へて 鍾路校の土俵開き

二日午前十時半から行はれた鍾路小學校の土俵開きに關西相撲の大關天龍がお弟子三人をつれて現れました、全校千百の兒童は男子も女子も大喜び、『相撲道は武士道です』と天龍關の相撲のお話を聞いてから、天龍關は羽織袴で土俵に上り手をとつて一々敎へ、それからは裸になつたお弟子さんを相手に選ばれた豆力士の猛烈な體當り、束になつての押しに大きなお相撲取も小さい土俵を割つたりして大騷な人氣、可愛い豆關取の紅白試合等があつて正午式を終りました(寫眞は鍾路小學の土俵開き)

貯銀預金高

貯銀六月末預金殘金現在高左の如し(單位千圓)

普通貯金	七、一一五
特約貯金	八、七三七
据置貯金	六、六九九
殖産積金	三三、三八八
定期預金	一、六八八
別段預金	四八〇
合計	五七、一〇一

夕刊後の市況

◇…大阪短期引跡後場

大新	九二、四〇	一、〇〇高
新鐘	一八二、五〇	一、〇〇高
日産	八二、〇〇	一、〇〇高
新東	一五六、八〇	一、〇〇高

◇…橫濱生絲後場引 當 八六五、〇 先一

◇…福井人絹後場引 當 八四、四〇 先八四、七〇

實物後場 證券金融三六八圓丁(三七圓五拂込)石川島四一圓 三府銀四〇圓丁ボルネオゴム二六圓 二神戸製鋼新三八圓 二日商鮮業二六圓 八足利紡二八圓丁

大臣もダットサンに

今回產業五ヶ年計畫の重要項目をなしてゐる自動車製造事業法施行後の國產自動車工業の現勢を視察する必要があるといふので、去る十二日は杉山陸相と吉野商相が橫濱の日產自動車工場を視察したが、十六日には企畫廳總裁廣田外相と米内海相が日產工場を見學した。

宮田町へ新築された新大衆車"ニッサン"で京濱國道のドライヴを試み兩大臣頗る上機嫌、午後二時半工場に到着、鮎川社長、渡邊專務、山本販賣會社專務等の案內で先づ兩相仲よくダットサンに相乘りで機械工場を振り出しに鍛鍊工場、組立工場を一巡、千五百トンのハミルトン、プレスでシャシーの鐵枠(フレーム)が一打で出來上る驚異や精密そのものゝ各種自動機械の操作に感嘆の聲を放ち、別敷地にある同社自慢の鑄造工場たる鑄物工場や建設中の鍛造工場を仔細に檢分一應の自動車通になつて同夕歸京した。

寫眞は仲よくダットサンに納つた廣田外相(左)と米内海相、後方は鮎川社長

藝術院會員を個人資格で

新文展の審査員問題

【東京電話】新人優待の第一回文展要項を決定した第一次顧問會議の後を受けて第二次顧問會議は二日午前十時から文相官邸に開催された

細川護立侯、岡部長景子、松浦鎭次郎、正木直彦、清水澄藝術院長の五相談役、文部省側から伊東次官、菊池專門學務局長、事務取扱代理本田學藝課長などが出席、決定要項につき既設會決定草案の逐條審議を行ひ、特に新文展の成否を決定すべき審査員の銓衡方針、無鑑査の範圍、授賞問題或は鑑査方法などを討議し、重要項目だけに議論百出して會議は午後迄續行されたが、大勢は審査員には帝國藝術院會員を個人の資格として入るべしとの意見に傾き、又無鑑査は昨秋の文展招待者、受賞者も含めて無鑑査とする方針に決定する模樣であるが、審査員の人選は直ちに行はず後日に讓られる筈である

朝鮮人壓迫に關し嚴重抗議

范總領事に對し

濟南山東省における支那官吏の在支朝鮮人壓迫は益々その度を加へ甚だしきに至つては恐喝暴行、金品掠奪濫罰し最近のみでも金品掠奪の被害は數千圓に達する狀況にあり本府外事課では重大視し出先領事に調査を命ずる一方一日午前十時相川外事課長は范總領事を本府に招致し嚴重な抗議をなしたがこれに對し范總領事はこれを諒として然るべく善處方を本國政府に要請することを述べ約三十分の會見で退去した

朝鮮煉炭決算

朝鮮煉炭では六月末を以て決算を締切り七月二十日過ぎ定時總會を開催するが今期業績は販賣網の擴充、生産設備の擴張等により相當の資金を要したが、煉炭の販賣增加により收益はよく結局一分增配は可能となるのではないかと見られる

水產檢查打合

本年度から新設された水產製品檢查支所長初の會議は來る五日から七日まで慶城合檢查所において穆檢查所長司會で開催されるが、同會議の協議事項左の如し

出張檢查の施行區域▲魚粉輸出合格品分析▲罐詰の檢查▲乾鰮包裝▲檢查標章▲白魚(日乾)檢查▲月報資料項目

賢明な贈物は・品のよい高級日用品

高級石鹸としての資格を完全に具備し……

斯界の標準品たる完璧さを認められてゐる！

ミツワ石鹸には、御贈答用として、三個函入包（五十錢見當）、半打函入包（一圓見當）、一打函入包（二圓見當）の各種があります

ミツワ石鹸

御中元に何より……喜ばれる贈物は本品です

泡立ちは……細かく
洗流しは……爽かで
作用は……實に緩和

東京・兩國（日本橋區兩國）
ミツワ石鹸
サーワ白粉
本舗 ◎丸見屋商店

◎ミツワ石鹸の姉妹品
◎ミツワ煉石鹸 各種發賣仕候
一番、十五番、二十番、三十番、五十番
百番、百五十番、二百番、三百番、五百番

白き手の人々 〔86〕

吉屋信子作 一木弴繪

來るもの（五）

「芙美ちやん、ゐるかい？」

いつになく、けたゝましい聲をあげて、母のお愛が上り框に、膝を打突けぬばかりに、そゝくさと履物を脱ぐと、

「芙美ちやん」

と、又もや、續けざまに呼び立てた。

「お母さん、何？どうしたの？」

と、芙美が二階から駈け降りて來た。いつぞや、文吉の事から言ひ爭ひとなつて、芙美の方からは打解けた口もきかうとしないのだつたが、さすがに今の母のあまり變つた様子に、此頃の氣まづさも忘れて、飛び降りるやうに、玄關に出て來て、母の傍に立つたのである。

「芙美ちやん、ゐたんだね、私や大變なことを聞いたもんだから――」

「大變なことつて？」

芙美は母が、日頃騒がぬ事にも仰山に騒ぎ立てるので、又かとは思つたが、ともかく夜遅くでなければ歸らぬ母が、追ひかけるやうに家の中に駈け込んで來ての騒ぎなので、何か母にとつて相當に打撃なことなのかも知れないと思つた。

「一齋さんが、お前大變なんだよ」

母はやつと茶の間へ入つて座ると、少し落付いて、懐中を取り上げながらさう言つた。

「一齋さんて、猪瀬さんの坊ちやんね、あの方が何うなつたつて、私達に關係ないぢやありませんか」

と、芙美は少し、冷てこすりやうに言つて、（何だ馬鹿らしい）といふやうな顏をした。

「ふん、一齋さんだといふと、お前は問題にもしないやうだけれど、その一齋さんと一緒に警察へ引張られた人がゐるんだよ」

「えつ！おや文吉さんが？」

芙美は既に母の言葉に先寄りをした。

「お察しの通り、昨夕、一齋さんとその文吉つてひとが、檢擧されてまだ歸れないんですよ、何でも勞働者の味方をする運動に入つてゐたんだつてね」

「お母さん、そんな事仰有るけど、どうして、そんな事、早くお母さんに、分つたの」

「どうしてつて、――猪瀬さんから、つひ今し方聞つたのさ、それでこうして、慌てゝお前に知らせに來たんですよ」

お愛がむしろ得意げに、此の初耳のニュースを語るのを聞いてゐるうちに、芙美はその悲しいニュースに對する驚きと同時に、そんな一大事の話を、お愛の耳に早くも入れたといふ猪瀬氏と母との昵懇しい關係を無理にも見せつけられるやうな氣がして、顏を背けたくなつた。そして、芙美は言葉もなく默つてゐた。

「芙美ちやん、だから氣をお付けと言つたんだよ、あの文吉つて人は一通りの奴ぢやありませんよ、親代々御贔屓を受けたお邸の坊ちやんを、そんな惡い仲間に引張り込むなんて、猪瀬さんも、かんかんになつて怒つていらしつたよ、親子諸共、追ひ出されるに決つてゐるよ、ほんとに」

お愛は猪瀬氏の様子を誇張して芙美に語らずにはゐられなかつた。

【お斷り】 挿畫は富永謙太郎氏が病氣のため執筆不可能になりましたので、八六回から一木弴氏に描いていたゞくことになりました。右御諒承願ひます。

ラヂオ

青田の蛙 —京都府乙訓郡より—

（8時）

東海道線向日町驛の西南一粁半にある長岡宮趾は、桓武天皇延暦三年始めて都を山城國に奠め給ふた宮城の遺址で同十三年平安の新都に遷せられるや漸次荒廢に歸したといふ今は一面の青田で時折り畑中から古瓦土器を出して考古家を喜ばしてゐる蛙の頭數の多いことは、この地が蛙手と呼ばれてゐたことで推察される、本月初旬好事家を悩した河鹿の趣味に反して耳を聾する青蛙百萬匹の大合唱をお送りする

爽涼名作ぞろひ『室』『内』『樂』

—第三夜…9・00—

ハープ 篠野靜江
フルート 岡村雅雄
チエロ 齋藤秀雄

一、不安 グリンカ作曲 謎のやうなハープに乘つてチエロとフルートはやさしいデユエットをするロマンス
二、船唄 オッフエンバック作曲「ホフマンの物語」の中の有名な船唄、夏の夜にうれしい水都のたより
三、ガヴォット マルテイーニ作曲 —優雅な古典舞曲
四、さくらさくら 齋藤秀雄編曲 筝曲さくらさくらをハープトリオ用に編んだもの
五、グノシエンヌ第一 サテイ作曲 ギリシヤの神殿の前に踊る舞姫ゆるやかな、また奇異なしらべ これはフルートとハープだけで演奏する
六、セレナード（トセリ作曲 齋藤秀雄編曲） 嘆きのセレナードとして甘く哀しいセレナード
七、農民の踊り ハルトマン作曲 ゆるやかな前奏とそれにつゞく輕快な、また粗野な踊り

講演六・〇〇 眞のサービス

京城商工組合聯合會長 石原磯次郎

サービスと云ふ言葉が我國で用ひられたのは、僅か二十年位前からである、元來米國から輸入された言葉で我國では奉仕と云つて居るサービスとは片方のみの利益を考慮したものではなく双方の共存共榮を、又は双方の滿足を念願とする、從つて所謂實質な思ひ付による景品とか割引とか云ふものは決してサービスではない何か共鳴に訴へ大なる感激がなければ眞のサービスとはならない

サービスの仕方にしても色々ある、物質的なサービス、智能をサービスする場合、努力に依るもの、言辭に依るサービス、動作に依り好感を與へるもの、自分の持前特色を以てサービスする事もあり又安心を與へるサービスもある、これ等について實例を舉げてお話申上げたい

要するにサービスはこれをする方とされる方双方共に愉快な滿足を得ると共に後味が殘るものでなければ、眞のサービスとは云へない心から生れたもの、自然と表はれたものこそ眞のサービスである

ラヂオのプロ

三日（土）

第一放送

午前六時（東）體操
同六時三〇分（東）英語講座（二十五）
同七時 天氣見込
同七時一分（京）朝の修養 古代の祝詞（三） 出雲路通次郎
同九時二〇分（城）氣象
同九時五五分（城）衞生メモ
同一〇時三〇分（大）婦人の時間 我國の化學界の將來と家庭 阪大教授理學博士 小竹無二雄
同一一時一五分（城）衞生講演 子供の皮膚病（朝鮮語・釜山） 醫博 吳元錫
正午（東）時報・外
午後零時五分（城）三曲と三曲
一、三曲合奏 さむしろ 箏 矢野芳子 三絃 藤原繁子 尺八 金盛仙玉
二、三曲合奏 黒髪 三絃 藤原繁子 尺八 金盛仙玉
同零時三〇分（東）國民歌謠 永岡志津子・オリオンコール 一、Aの字の歌 二、新鐵道唱歌
同零時四〇分 ニュース
同零時五五分（城）野球 都市對抗豫選
同二時三〇分（東）ホームソング 四家文子 一、埴生の宿 二、ローレライ 三、ケンタツキーの家 四、サンタ・ルチア
同四時 ニュース・氣象・經濟（清津）
同六時（城）講演 眞のサービス 京城商工組合聯合會長 石原磯次郎
同六時（東）趣味講演（清津） 長崎むかしばなし 永見徳太郎
同六時三〇分（東）近世日本の英傑 野口英世（二）（テキスト二七ページ） 脚色演出 東京放送童話研究會
同六時五〇分（東）コドモの新聞
同六時五五分（東）カレントトピツクス
同七時 ニュース・外
同七時三〇分（東）講演 地震と火山 理學博士 石本巳四雄
同八時（京）青田の蛙—京都府乙訓郡向日町鷄冠井より中繼—
同八時一〇分（東）小唄「夏四題」 唄 藤村孝 三味線 藤村孝笑 一、夜明けて 二、風折ゑぼし 三、又の御見 四、浮世とは
同八時二〇分（名）浪花節 壺坂靈驗記 浪花亭綾太郎
同九時（東）爽涼名作ぞろひ（第三夜）室内樂 ハープ 篠野靜江 フルート 岡村雅雄 チエロ 齋藤秀雄 一、不安 二、船唄 三、ガヴオツト 四、さくら、さくら 五、グノシエンヌ第一 六、セレナード 七、農民の踊り
同九時三〇分（東）時報・外
同一〇時（城）地方へのニュース レコード音樂—尺八と箏曲—（京城は第二放送による）

第二放送

午前一一時一五分 衞生講演 吳元錫
午後零時五分 映畫物語 徐相弼
同零時五五分 野球試合實況 —京城球場より中繼—
同六時三〇分（平）兒童劇 三日月サークル
同七時 夏期課外講話 李德象
同八時 經濟解説 林炳蘇
同八時三〇分 漫談 黄材景
同九時（東）室内樂
同一〇時 地方へのニュース（國語）レコード音樂（京城）

あすの聞きもの 四日（日）

午前六時三〇分（京）禪堂の朝 京都府宇治黄檗宗大本山萬福寺より中繼
同九時三〇分（東）ラヂオ見學「鐵道工場」東京鐵道局大井工場より中繼
同一〇時（城）日曜禮拜 旭町京城メソヂスト教會より中繼
同一〇時（東）日曜勤行（清津） 牛込區月桂寺より中繼
午後零時五〇分 滿洲より（ハルビン）ロシア音樂
同一時二〇分（東）青年講談
の午後（釜山は一・五〇以後中斷し野球入中）
同一時五〇分（城）野球試合 都市對抗豫選—決勝
同三時（東）ラヂオ風景（釜山は野球入中） 中村是好
同六時三〇分（大）お話と歌 お母さんからきいたお話 アメリカ兒童
同七時三〇分（城）舞臺中繼 京城明治座より 勸進帳 松本幸四郎・外
同八時五五分（城）小唄 唄 駒 亮外
同九時五分（東）爽涼名作ぞろひ（第四夜）新内 富士松東藏